



子どもたち 先生方の笑顔のために

壁面に掲示してご活用ください

# 共に歩まん

令和5年3月15日発行

最終号

中信教育事務所



ご意見はこちら→

←過去の「共に歩まん」はこちら

1年間ありがとうございました。

最終号は、「所長、学校教育課長、生涯学習課長の言葉」、  
両課の「本年度の振り返りと次年度に向けて」の特集です。

## 3年間を振り返って



中信教育事務所長 青木 淳

新型コロナウイルス感染症が世界を襲い、全国の学校が臨時休校していた令和2年4月に中信教育事務所に赴任して丸3年経ちました。これまでこの紙上で「新型コロナの影響で子どもたちも保護者の皆様も大きな不安を抱えています。先生方も不安でしょうが、子どもたちには笑顔で接することができるよう」また、「子どもたちも先生方も皆さんが不自由な思いをされていることでしょう。そんな中でも皆さんが、マスクの下は笑顔でいられるよう、所を挙げて支援させていただきます」とお話ししてきました。

3年前はほとんどが中止になってしまった運動会や音楽会、修学旅行といった学校行事も、各学校、市町村教育委員会の皆さんが感染対策を工夫いただく中で再開され、子どもたちの笑顔が見られる場面も戻ってきました。また、今年はようやく卒業式でもマスクを外せるようになり、本当に良かったと感じています。

この間、学校で一番大きく変わったのは、児童生徒全員に行き渡ったタブレット端末などのICT機器を活用した授業などの広がりでしょうか。当事務所でも、指導主事を中心に皆さんの支援に力を入れた部分であり、私も3年間で延べ120校余りの学校を訪問する中で、毎年の変化に驚かされました。

そんな中、最近話題のAIチャットボットを使えば、大学生の課題のレポートも教授が感心するレベルで簡単に書けてしまうそうです。以前からウィキペディアのコピペの答案という問題もあったようですが、小中学生も宿題の答えを簡単に導いているのではないかと心配になります。先生方にはそれを見抜く力も求められているのかもしれませんが（既にサイトの画面上に文章を貼り付けるとAIが作ったものかどうか採点してくれるアプリもあるそうです）が、それよりも子どもたちが自分で考える力をどう育てるか、皆で知恵を出し続けられないと思います。引き続き、中信教育事務所は指導主事を中心に皆さんを支援して参ります。

結びに、私事で恐縮ですが、今月末で県職員を定年退職いたします。退職後は、地元の小学校の学校ボランティアとして、また、少年野球のコーチとして、少しでも長く子どもたちと関わっていただけたいと思っています。

3年間本当にありがとうございました。皆様のご健勝とご活躍をお祈りしています。

「学び」の力で未来を拓くべく、共に歩みましょう。

## 学び続け、自らをアップデートする

学校教育課長 赤羽 文恵

令和4年度が、まもなく終わりを迎えようとしています。各学校では、子供たちの1年間の成長をかみしめながら、終業式や卒業式に向けて大詰めの準備をしていることと思います。

今から3年前、突如現れた未知のウイルス。この新型コロナウイルス感染症の影響で、社会生活はもちろん学校生活においても様々な対応を余儀なくされました。それまで当たり前に行ってきた対面での授業、会話しながらの食事、行事の見直し等が求められました。「関わる」「群れる」ことなど、制限を余儀なくされたこともたくさんあります。一方で、ICTの活用は急速に進み、教育活動の充実に向けて、新たな可能性を広げています。この3年、私たちは、社会が変わり、先行きが不透明に感じる生活を実際に経験しました。

子供たちは、さらに変化の激しい予測不能な時代を生きていきます。このような子供たちに必要な資質・能力を育成していくために、私たちは学び続け、自らをアップデートしていくことが必要です。変えることもありますし、深めていくこともあります。そのためには、新しい知見を取り入れたり、刺激を受けたりしていくことが大事になると思います。その一助として、教育事務所の学校訪問支援や各種研修会等を活用していただければ幸いです。

結びになりますが、今年度も、教育事務所の諸事業にご理解とご協力をいただき、ありがとうございました。子供たちの姿を原動力にして、共に歩みを進めてまいりましょう。

## 令和4年度 学校教育課 本年度の振り返りと来年度に向けて

本年度の重点

本年度の取組

来年度に向けて

共に明日の  
一歩が見える  
学校訪問支援

【学校訪問支援】

学校教育目標の具現に向けて、子供の具体的な姿をもとに、授業づくり、学校づくりについて、共に考えさせていただきました。

引き続き、学校教育目標の実現と各教科等の資質・能力の育成につながる授業づくり・学校づくり支援に取り組みます。

学び続ける  
先生方と共に歩む  
教職員研修

【研究推進講座】「探究的な学び」と「自校の研究の充実」について語り合う場を設けました。  
【授業力アップ講座】先生方の思いや願いを基に、授業づくりについて考え合いました。

日々の授業改善や「探究的な学び」の実現につながる研修、初任者研修のさらなる充実を図ります。

実践を伝え、広げ、  
共有する  
情報発信

【事務局だより 共に歩まん】(年間29号発行)お読みいただいた先生方からご意見をいただくなど双方向でつながり、考えるきっかけとなる事務局だよりを目指して情報を発信しました。

年間を通して先生方からのご意見を伺うなどして内容の充実を図り、校内で活用できるような事務局だよりを発行します。

心と心をつなげる  
教育相談

【いじめ・不登校相談員やSSWの訪問等】不登校や集団不適応の子供の早期発見・未然防止に努めました。早い段階からのSSWのかかわりにより好循環を生んでいます。

安心感、存在感、充実感のもてる居場所づくりを目指し、子供を取り巻く環境に働きかけます。



今後も「学びの成果が生きる生涯学習」「人がつながり、学び合う豊かな地域づくり」の実現に向けて「対話」で未来につなげるチーム生涯！」をスローガンに業務を推進してまいります。1年間お世話になりました。

### 本年度の振り返りと来年度に向けて

#### 社会教育

### 地域と学ぶ・地域に学ぶ・地域で学ぶ

今年度も、地域と学校の協働活動や地域の活性化に取り組むみなさんの姿から多くのことを学びました。

**多世代がともに楽しみ、学ぼう！**    **地域の人から技術を学ぼう！**    **各種団体で横のつながりを！**



山形村Yふるさとレンジャー



木祖村教委・木祖中学校 すくすく大学



朝日村  
団体・サークル間交流・情報交換会

○来年度も社会教育に関わり、ともに考えていきたいと思えます。お気軽にご相談ください。

- ・地域学校協働活動の充実のための情報提供・研修
- ・国CS導入を考えている市町村教育委員会・学校への支援 等

#### 社会人権教育

### 地域と学校をつなぎ、地域ぐるみの学び合いを

#### 人権教育実践力スキルアップ講座

- ☆まずは自分が「自分事として体験的に学ぶ」
- ☆地域や学校で「実践に生かせる」
- ☆地域と学校の担当者同士が「お互いにつながり合い連携・協働に向かう」

来年度も現地研修や地域の人権素材を扱った研修など、様々な人権課題を扱った内容を考えて参ります。知る事で自分自身の人権意識が高まり、視野が広がります。多くの先生方の御参加をお待ちしています。



エプソンミズベ広丘工場の現地研修(障がい者雇用・就労支援)

特例子会社というエプソンミズベ広丘工場さんの存在と取り組みをはじめて知り、現地研修(見学)をさせていただき、とても学ぶことが多かったです。設備だけではなく、心のサポートに取り組んでいるからこそ、作業している社員の方の会社に対する信頼が見えました。 <受講された先生の感想より>

#### 生涯スポーツ

### 生涯を通じたスポーツ機会の充実をめざして

#### ◇中学生期のスポーツ活動の支援

昨今、**休日部活動の地域移行**や**スポーツ環境整備**および**スポーツ指導等**、子どもたちをとりまく状況について話題となっています。学校、地域の実状に応じて、指導の在り方やスポーツ環境づくりについて一緒に考えさせていただきます！

- ・ニュースポーツを体験してみたいなあ…
- ・パラスポーツを授業で扱いたいんだけど、どうやったらいいんだろう…
- ・『休日部活動の地域移行』って、どうなっていくのか知りたいなあ…

#### ◇出前講座「教職員のためのスキルアップ講座」

放課後の短時間や長期休業を活用して、「誰でも楽しめるニュースポーツ・パラスポーツの紹介」や「明日の授業に生かせる教材研究」など希望に応じて柔軟に対応します。職員研修や学年会等で御活用ください！



先生方の御要望に応じて対応します。お気軽に御連絡ください。

